

ウガンダ便り

初めまして、国連人口基金（UNFPA）ウガンダ・カントリーオフィスで今年5月末より広報官として働いております、野澤実奈と申します。大学院卒業した後、ニューヨークでの国際交流基金、ロサンゼルスでの国連ウィメンズ協会で働いた後、UNVとして今の事務所に派遣をされました。文化の違いで困ることは多少ありますが、ウガンダは比較的住み易く、楽しい国です。

ウガンダ概要

ウガンダは、赤道直下の国ですが、首都のカンパラでは標高が高く、一年中を通して過ごし易い気候です。気候変動があまりないので、夏や冬という季節感よりは、雨季と乾季という概念がよく使われます。雨季でも雨は、1-2時間激しく降る程度ですので、日本のように一日中、一週間ずっと生活スタイルは、とてもゆっくりで、私の住むカンパラ市内では、ほとんどのレストランやカフェなどのお店、タクシードライバーたちに英語が通じます。たまに停電や脱水も発生しますが、カンパラは首都なので、比較的インターネットへのアクセスも出来ますし、数は限られているものの、映画やイベントなどの娯楽もあるので、あまり日常生活では困ったことはありません。日本との接点はあまりなく、ウガンダと聞いてもパッとこない方もいらっしゃるかもしれませんが、現地で話されているルガンダ語は、どことなく日本語にも似ていて（苗字で「ナカト」さんや、地名が「ナカセロ」など）、町を走る車のほとんどが日本車です（とは言っても新車ではなく、日本から中古車が輸入されているので、10年、もしくは20年前の日本では見かけない古い車が沢山走っています）。

雨が多いので作物が沢山でき、ウガンダでは農業が主な収入源となっています。道を歩いてもバナナやパイナップル等の食物をよく見かけます。主食は、マトケと呼ばれる緑のバナナを蒸してつぶしたもや、さつまいもやじゃがいもなどの穀物類、または火を通したキャッサバに、ジーナツと呼ばれるピーナツソースをかけ、牛、ヤギやティラピアと共に食べます。とてもヘビーですが、これをウガンダの人たちは3食毎日好んで食べます。

ウガンダは、日本とは対照的に、78%の人口が30歳以下の若者で形成されています。町を歩いても、若者を沢山見かけて、ほとんどの人が最低5人、あるいは10人以上兄弟・姉妹がいます。若者で活気の溢れているウガンダですが、若者の失業率やエイズ感染者、十代の少女たちの妊娠や南スーダン・コンゴ等の隣国からの難民の問題が多く、若者の可能性を最大限に生かされていないのが現状です。

UNFPA ウガンダでの仕事

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、UNFPA ウガンダでは、以下の4つの主な活動を行っております。

- 1.人道支援
- 2.性と生殖に関する健康
- 3.ジェンダーの平等
- 4.若者

上記に述べた通り、ウガンダでは難民の数に加え、若者の総人口が増え続けています。十分な教育や職業トレーニングを受けていない若者は、性と生殖に関する正しい情報や知識を得られず、売春行為や避妊具の不使用など、自身のサバイバルのために、危険行動をとるリスクが高

いことが証明されています。また、ウガンダでは、4人に1人が、10代での妊娠の経験があったり、パートナーからのDVの被害を受けたりと、問題は様々です。総人口の大半を若者が占めているウガンダにとって、若者たちへの投資は、彼らのエンパワーメントだけでなく、国全体としての人口ボーナス（人口動態によるメリット）を得るチャンスにも繋がります。ウガンダにいる全ての若者たちに、性と生殖に関する教育や、情報・サービスの提供をすべく、国連人口基金ウガンダ事務所では、ウガンダ政府や、パートナーの団体や組織と共に、ウガンダの若者、特に少女たちの持つ可能性や夢の実現への支援を強化しています。

広報官としての活動

広報官としての主な活動は、国連の定めた各、国際デーのメッセージの伝達、ウガンダで起きている性と生殖に関するイベントの開催、サポート、そのレポートや、各プロジェクトのプロポーザル作成、地方と難民キャンプでの性と生殖に関する情報やサービスの啓発活動など様々です。

あらゆる広報活動の中で、私は主に、ウガンダ事務所のソーシャルメディアの管理と、若者・イノベーションに関する分野の広報支援を行っております。国連人口基金では、近年、イノベーション分野に力を入れています。イノベーションが性と生殖に関する分野での活躍をより広げてくれるからです。イノベーションといっても、最新の機能やテクノロジーを取り入れた活動だけに限らず、その地域の文化やキャパシティーに合った、新しい取り組みやアイデアも尊重されます。

国連人口基金ウガンダは、**Youth Enterprise Model (YEM) 2.0** というプロジェクトを始動します。YEM2.0は、難民を含む、ウガンダにいるすべての若者たちのビジネスアイデアを支援し（資金・技術支援やリーダーの育成等）、それと同時に性と生殖の情報・サービスの提供を取り入れたプログラムです。詳しくは、国連人口基金ウガンダ事務所のホームページの [ニュース欄](#) よりご覧いただけます。興味がある方は一度ご覧ください。



Launch of Youth Enterprise Model (YEM) 2.0 by UNFPA Uganda at the Youth Business Forum of the 9th Commonwealth Youth Ministers Meeting